

2019.7.26 第51回日本医学教育学会大会 シンポジウムI

## 医学部入学者選抜の 妥当性と公平性に関する考察

東京医科大学 大滝純司

1

# 日本医学教育学会大会 COI開示

筆頭演者名：大滝 純司

演題発表に関連し、開示すべきCOI関係にある  
企業などはありません。

2

## 本題に入る前に

### ▶ 異動について

▶ 北海道大学 → 東京医科大学

### ▶ 東京医大の入試事件への関与

▶ 医学教育学主任教授

期間：2008年～2012年

↑  
本学入試業務への関与：主に面接員

3

## アフガニスタン カブール医科大学（2003年）



アフガニスタン国 医学教育プロジェクト 事前評価調査

4

## 話題

- ▶ 公平と公正
- ▶ アドミッションポリシーと選抜方法
- ▶ 差別してはいけない属性
- ▶ メリトクラシーとペアレントクラシー
- ▶ 医学教育研究のレビューから
- ▶ 医学部入試と教育格差
- ▶ 自身の研究から

5

## 話題

- ▶ 公平と公正
- ▶ アドミッションポリシーと選抜方法
- ▶ 差別してはいけない属性
- ▶ メリトクラシーとペアレントクラシー
- ▶ 医学教育研究のレビューから
- ▶ 医学部入試と教育格差
- ▶ 自身の研究から

6

### 令和2年度版 文部科学省「大学入学者選抜実施要項」(1)

#### 基本方針(抜粋)

- ▶ 各大学が(中略)入学者受入れの方針(アドミッション・ポリシー)に基づき(中略)入学者に求める力を多面的・総合的に評価することを役割とするものである。
- ▶ 公正かつ妥当な方法によって、入学志願者の能力・意欲・適性等を多面的・総合的に判定する。
- ▶ 年齢、性別、国籍、家庭環境等に関して多様な背景を持った学生の受入れに配慮する。
- ▶ 高等学校における適切な教育の実施を阻害することとならないよう配慮する。

出典：令和2年度大学入学者選抜実施要項  
 (令和元年6月4日付け 元文科高第102号文部科学省高等教育局長通知)

7

### 令和2年度版 文部科学省「大学入学者選抜実施要項」(2)

#### 基本方針(抜粋)

- ▶ 能力・意欲・適性等の判定に当たっては、入学者受入れの方針(アドミッション・ポリシー)に基づき、学力を構成する特に重要な以下の三つの要素のそれぞれを適切に把握するよう十分留意する。
  - ① 基礎的・基本的な知識・技能
  - ② 知識・技能を活用して、自ら課題を発見し、その解決に向けて探究し、成果等を表現するために必要な思考力・判断力・表現力等の能力
  - ③ 主体性を持ち、多様な人々と協働しつつ学習する態度

出典：令和2年度大学入学者選抜実施要項  
 (令和元年6月4日付け 元文科高第102号文部科学省高等教育局長通知)

8

## 文部科学省大学入試の改善について（答申）(1)

（平成12年11月22日大学審議会）より抜粋

### 第1章 大学入学者選抜の改善のための基本的な視点

#### 1 大学入学者選抜を巡る状況

・・・しかしながら、それでもなお社会においては、**学力検査による成績順位に基づく選抜が最も公平であり、それ以外の要素を加味することは不公平であるという観念が根強く残っており**、大学における入学者選抜も、このような社会の観念も意識して、学力検査による成績順位に基づく選抜が一般的になっている。（中略）**受験生の多様な能力・適性等や入学後の教育で伸びる可能性などに十分留意し、評価尺度の多元化を一層推進する必要がある。**



9

## 文部科学省大学入試の改善について（答申）(2)

（平成12年11月22日大学審議会）より抜粋

### 2 大学入学者選抜の改善のための基本的な視点

#### (2) 受験生の能力・適性等の多面的な判定

**大学入試センター試験の成績の資格試験的な取扱い、思考力や表現力等の評価に力点を置いた個別試験の改善、アドミッション・オフィス入試等の丁寧な選抜等を推進することが重要である。**（中略）**初等中等教育の改善の方向を尊重し一層助長するよう十分配慮するとともに、選抜の方法及び結果が公正かつ妥当なものとして受験生はもとより社会一般の信頼を受けるようにすることが必要である。**

10

## 文部科学省大学入試の改善について（答申）(2)

（平成12年11月22日大学審議会）より抜粋

### 2 大学入学者選抜の改善のための基本的な視点

#### (4) 公平性についての考え方の見直し

・・・**絶対的な公平性を追求しようとすることは、かえって様々な改善策の実現を困難にし、入試業務の負担を重いものにしていくことを踏まえることも必要**（中略）**合理的に許容される範囲の中での公平性という考え方に転換していくことが必要**



11

## 話題

- ▶ 公平と公正
- ▶ アドミッションポリシーと選抜方法
- ▶ 差別してはいけない属性
- ▶ メリトクラシーとペアレントクラシー
- ▶ 医学教育研究のレビューから
- ▶ 医学部入試と教育格差
- ▶ 自身の研究から



12

## アドミッションポリシーと選抜方法

Selection Criteria: UMASS Medical School (抜粋)

- ▶ Attributes that contribute to the diversity of the class, including, but not limited to, socio-economic background, educational background, work experience, nationality, languages spoken, ethnicity, race, gender, gender identity, and sexual orientation. Also considered in diversity are students from disadvantaged backgrounds and resiliency in terms of positive capacity to cope with stress and adversity.

13

## 国際シンポジウム 「医学部入試の課題と改革」



2013.10.26 国際シンポジウム「医学部入試の課題と改革」

14

### 特別発表 マギル大学の医学生選抜 —その新手法 “Admissions at McGill University Faculty of Medicine”

ジョイス・ピカリング カナダ マギル大学医学部准教授

東京大学医学系研究科附属医学教育国際研究センター  
平成 25 年度招聘 特任准教授

Joyce Pickering, MD, FRCPC, FACP  
Interim Physician in Chief  
Department of Medicine  
McGill University Health Centre  
Montreal, Canada



Invited Project Associate Professor  
International Research Center for Medical Education  
Graduate School of Medicine, The University of Tokyo

15

## How did we develop our stations?

MMIのステーションの設計方法

Physicianship のカリキュラムの個別の目標を

MMIの中に明確に組み入れて

入試選抜における個別の基準に

Specific  
Physicianship  
Curriculum  
Objectives

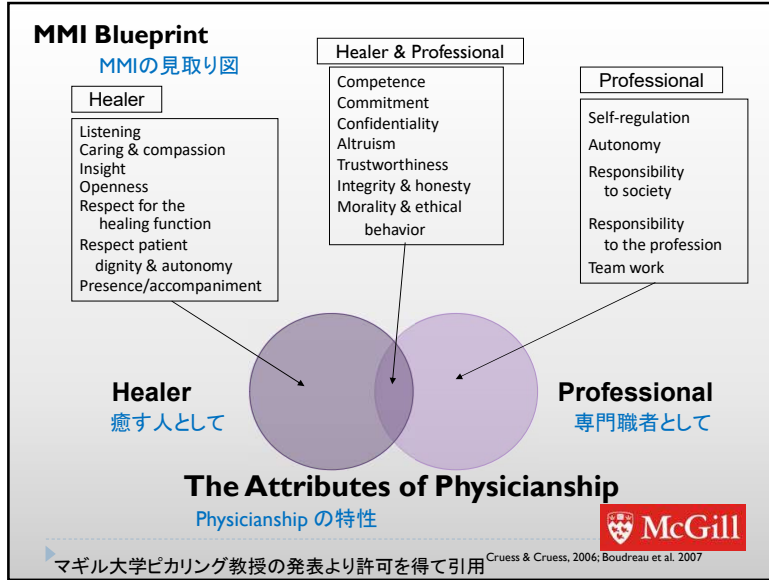
Explicit alignment  
through MMI

Specific  
Admissions  
Selection  
Criteria

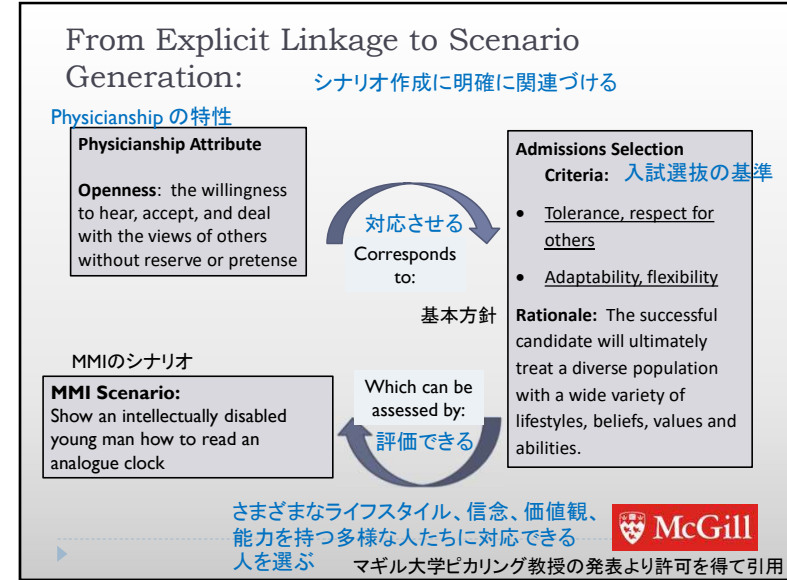


マギル大学ピカリング教授の発表より許可を得て引用

16



17



18

### 北海道大学医学部医学科の 入学者受け入れ方針 (アドミッション・ポリシー)

#### 求める学生像

- ▶ 1. 強い学習意欲と多様な科目を履修していく基礎学力をもつ学生
- ▶ 2. 積極性、堅実性とともにも他者との協調性をもつ学生
- ▶ 3. 多様な事象に対し興味、理解力を持ち、共感とともに批判する能力をもつ学生

平成30年度一般入試 合格者の平均点等  
 配点合計: 825  
 総合点: 最高727.25 最低642.34 平均671.38  
 センター粗点平均点: 804.79

19

### 北海道大学医学部医学科の入試情報(抜粋)

#### センター試験 5教科7科目 (300点満点)

- ▶ 【国語】国語 (80)
- ▶ 【数学】数IA必須、数IIB・簿記・情報から1、計2科目 (60)
- ▶ 【理科】物・化・生から2 (60)
- ▶ 【外国語】英・独・仏・中・韓から1 [リスニング] (60 [12])
- ▶ 《地歴》世B・日B・地理Bから選択 (40)
- ▶ 《公民》「倫理・政経」(40) ● 選択→地歴・公民から1

#### 個別学力試験 3教科 (525点満点)

- ▶ 【数学】数I・数A・数II・数B・数III (150)
- ▶ 【理科】「物基・物」必須、「化基・化」・「生基・生」から1、計2 (150)
- ▶ 【外国語】コミュ英語I・コミュ英語II・コミュ英語III・英語表現I・英語表現II (独・仏・中の選択可) (150)
- ▶ 【面接】(75) 個別... 面接は高校の調査書等を資料として参考にする

参照: 旺文社大学受験バズナビ

20

## 話題

- ▶ 公平と公正
- ▶ アドミッションポリシーと選抜方法
- ▶ 差別してはいけない属性
- ▶ メリトクラシーとペアレントクラシー
- ▶ 医学教育研究のレビューから
- ▶ 医学部入試と教育格差
- ▶ 自身の研究から

21

## 演習：差別が容認されるのは？

- |        |             |
|--------|-------------|
| ▶ 性別   | ▶ 身長        |
| ▶ 年齢   | ▶ 筋力        |
| ▶ 受験回数 | ▶ 持久力       |
| ▶ 出身地  | ▶ 高校の偏差値    |
| ▶ 国籍   | ▶ 高校の出席状況   |
| ▶ 母語   | ▶ 親の職業      |
| ▶ 経済状態 | ▶ 記憶力       |
| ▶ 宗教   | ▶ ボランティア経験  |
| ▶ 犯罪歴  | ▶ 6年後の進路の約束 |
| ▶ 学歴   | .....       |

22

## UK Equality Act 2010

(ケンブリッジ大学 柴原真知子先生より)

あらゆる差別に対して法的措置をとるための法律として立法・施行された。

- Age - Disability - Gender reassignment
- Pregnancy and Maternity - Race Religion or belief
- Sex - Sexual Orientation - Marriage and civil partnership

同法は、このように不平等を包括的に捉えることで、より公平かつ平等な社会を目指すものである。その意図から、「Public Sector Equality Duty」(PSED)が別途定められた(2011年4月施行)。これにより、医学部を含める高等教育機関や病院(NHS)などの公共機関は、差別是正に向けた取り組みが法的義務として課される。

23

## 話題

- ▶ 公平と公正
- ▶ アドミッションポリシーと選抜方法
- ▶ 差別してはいけない属性
- ▶ メリトクラシーとペアレントクラシー
- ▶ 医学教育研究のレビューから
- ▶ 医学部入試と教育格差
- ▶ 自身の研究から

24



## メリトクラシーとペアレントクラシー

- ▶ **メリトクラシー meritocracy**  
 メリット (merit、「業績、功績」とクラシー (cracy、「支配、統治」) を組み合わせた造語。(中略) **個人の持っている能力によってその地位が決まり、能力の高い者が統治する社会**を指す。(Wikipediaより抜粋)
- ▶ **ペアレントクラシー**  
 イギリス、カーディフ大学の教授P.ブラウンが1990年に提起した造語・概念。(中略) 特に教育達成度について、**ペアレント (親・保護者) の教育への関心と積極的な教育支援** (家庭や学校外での学習環境の整備充実や学校情報の収集・提供と助言など) **によって左右される社会の仕組みや規範**をペアレントクラシーという。(imidasより抜粋)

25

## 話題

- ▶ 公平と公正
- ▶ アドミッションポリシーと選抜方法
- ▶ 差別してはいけない属性
- ▶ メリトクラシーとペアレントクラシー
- ▶ 医学教育研究のレビューから
- ▶ 医学部入試と教育格差
- ▶ 自身の研究から

26

## 選抜方法の質を検討する観点 (1)

### 妥当性 Validity, 一貫性 Coherence

- ▶ その評価結果を用いることが**目的に適うという根拠**は明快か

### 再現性 Reproducibility, 整合性 Consistency

- ▶ 同じ条件下で繰り返した場合に**同じ結果**が得られるか

### 等価性 Equivalence

- ▶ 同じ試験を異なる機関や回で実施した場合に得られる**成績や判定は同等**か

A Practical Guide for Medical Teachers (5<sup>th</sup> ed.) pp 254, 2017  
 Med Teach. 2011;33(3):206-14

27

## 選抜方法の質を検討する観点 (1)

### 妥当性 Validity, 一貫性 Coherence

- ▶ その評価結果を用いることが**目的に適うという根拠**は明快か

### 再現性 Reproducibility, 整合性 Consistency

- ▶ 同じ条件下で繰り返した場合に**同じ結果**が得られるか

### 等価性 Equivalence

- ▶ 同じ試験を異なる機関や回で実施した場合に得られる**成績や判定は同等**か

A Practical Guide for Medical Teachers (5<sup>th</sup> ed.) pp 254, 2017  
 Med Teach. 2011;33(3):206-14

28

## 選抜方法の質を検討する観点 (2)

### 実現可能性 Feasibility

- ▶ その環境や状況において、实际的で現実的かつ賢明か

### 教育効果 Educational effect

- ▶ 教育的に**ためになるような準備を受験者に動機づけるか**

### 触媒効果 Catalytic effect

- ▶ **教育を創造し高め、そして支えるような結果**やフィードバックが得られるか。それがその先の学習を推進する

### 容認可能性 Acceptability

- ▶ 利害関係者が**選抜方法と結果を信頼できるか**

A Practical Guide for Medical Teachers (5<sup>th</sup> ed.) pp 254, 2017  
Med Teach. 2011;33(3):206-14

29

## 海外の大学入試

一次試験: **共通テスト**や高校時代の成績

- ▶ 米国 MCAT (Medical College Admission Test)
- ▶ 英国 UKCAT (UK Clinical Aptitude Test)
- ▶ 仏国 BAC (バカロレア Baccalauréat)
- ▶ 独国 TMS (Test für Medizinische Studiengänge)

二次試験: **個別学力試験は行わない**のが一般的

- ▶ 面接や小論文が多かったが...

30

## 海外では様々な医学部入試が

- ▶ Aptitude Tests 適性試験
- ▶ Academic Records 学業成績
- ▶ Personal statements, essays and autobiographical submissions  
自己紹介文, 小論文, 経歴
- ▶ References 推薦状
- ▶ Situational Judgement Tests (SJTs) 状況判断試験
- ▶ Personality assessment and Emotional Intelligence  
性格検査と感情的知性
- ▶ Interviews and Multiple mini interviews (MMIs)  
面接試験とMMI
- ▶ Selection centers セレクションセンター

Research Report. Identifying best practice in the selection of medical students (literature review and interview survey). GMC 2012.

31

## レビューの結果から

- ▶ Aptitude tests 適性試験 **△**
- ▶ Academic records 学業成績 **△**
- ▶ Personal statements, essays and autobiographical submissions  
自己紹介文, 小論文, 経歴 **△ ~ ×**
- ▶ References 推薦状 **×**
- ▶ Situational Judgement Tests (SJTs) 状況判断試験 **○**
- ▶ Personality assessment and Emotional Intelligence (EI) **?**  
性格検査と感情的知性
- ▶ Interviews and Multiple mini interviews (MMIs) **△ ~ ○**  
面接試験とMMI
- ▶ Selection centers セレクションセンター **△**

Research Report. Identifying best practice in the selection of medical students (literature review and interview survey). GMC 2012.

32



## Situational Judgement Tests (SJT)の例

### Multiple choice format

You review a patient on the surgical ward who has had an appendicectomy performed earlier in the day. You write a prescription for strong painkillers. The staff nurse challenges your decision and refuses to give the medication to the patient.

Choose the THREE most appropriate actions to take in this situation

- Instruct the nurse to give the medication to the patient.
- Discuss with the nurse why she disagrees with the prescription.
- Ask a senior colleague for advice.
- Complete a clinical incident form.
- Cancel the prescription on the nurse's advice.
- Arrange to speak to the nurse later to discuss your working relationship.
- Write in the medical notes that the nurse has declined to give the medication.
- Review the case again

Situational judgement tests in medical education and training: Research, theory and practice: AMEE Guide No. 100

33

## Multiple mini interviews (MMIs)の出題領域

McMaster	Canberra	Calgary	Israel	Dundee
Eva et al.	Harris and Owen	Lemay et al.	Gafni et al.	Dowell et al.
Communication	Interpersonal skills	Empathy	Communication	Communication
Critical thinking	Giving Instructions	Advocacy	Handling stress	Critical thinking
Ethical decision making	Taking instructions	Ambiguity	Initiative and responsibility	Integrity
Knowledge of health care system	Problem solving	Collegiality	Cultural sensitivity	Moral reasoning
	Ethics	Ethics	Self-awareness / maturity	Preparation + motivation
	Resilience/maturity	Ethics		Teamwork
	Enthusiasm	Integrity		
	Awareness of issues in medicine	Responsibility		
		Self - assessment		

Research Report. Identifying best practice in the selection of medical students (literature review and interview survey). GMC 2012.

34

## 別のレビューでは

- ▶ There is evidence of the predictive validity of Medical College Admission Test (MCAT) for medical school and licensing examination performance. MCATは医学部および医師国家試験の成績に対する予測妥当性の根拠あり
- ▶ Interviews have not been shown to be robust selection measures. 面接は選抜方法として不安定
- ▶ Studies of multiple mini-interviews have indicated good predictive validity and reliability.  
MMIIは予測妥当性と信頼性に優れる

Assessment for selection for the health care professions and specialty training: consensus statement and recommendations from the Ottawa 2010 conference. Med Teach. 2011;33(3):215-23.

35

## 別のレビューでは

- ▶ Widening access to medical and health professional programmes is an increasing priority and relates to the social accountability mandate of medical and health professional schools. 専門職への門戸を拡大することの重要性は増しており社会に対する説明責任とも関連する
- ▶ While traditional selection measures do discriminate against various population groups, there is little evidence on the effect of non-traditional measures in widening access.  
従来の試験は多様な集団を差別しているが新たな方法で改善できるという証拠はない

Assessment for selection for the health care professions and specialty training: consensus statement and recommendations from the Ottawa 2010 conference. Med Teach. 2011;33(3):215-23.

36

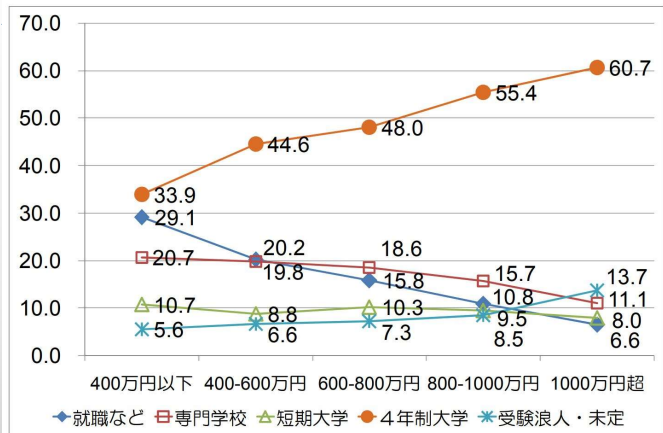
### 話題

- ▶ 公平と公正
- ▶ アドミッションポリシーと選抜方法
- ▶ 差別してはいけない属性
- ▶ メリトクラシーとペアレントクラシー
- ▶ 医学教育研究のレビューから
- ▶ 医学部入試と教育格差
- ▶ 自身の研究から

### 20130516 朝日新聞 所得と国立大進学率

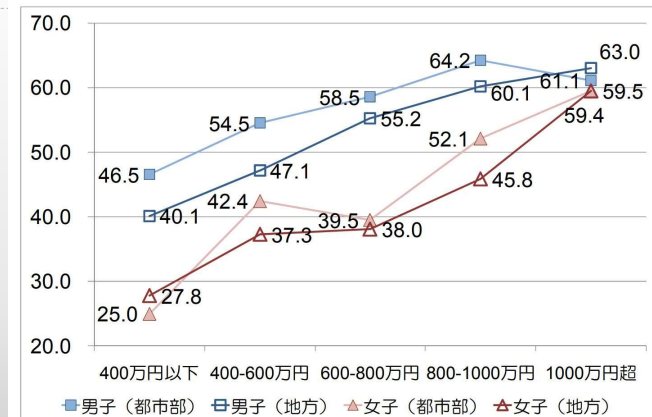


### 高校卒業後の予定進路 (両親年収別)



高校生の進路追跡調査 第1次報告書  
 東京大学大学院教育学研究科大学経営・政策研究センター 2007

### 4年制大学への進学予定者の割合 (両親年収別、性別・地域別)



高校生の進路追跡調査 第1次報告書  
 東京大学大学院教育学研究科大学経営・政策研究センター 2007

## 教育格差と医学部受験(日本)

塾や進学校に通えなければ医学部受験は困難？

参考: 高校生の保護者対象の調査

国公立大への自宅通学でも医歯薬系志望は  
所得階層による差

進学格差－深刻化する教育費負担, pp 67-92, 筑摩書房, 東京, 2008

← 医学部進学を早期にあきらめる家庭が増えている可能性

医学部入試で測定すべき能力は何か  
受験学力の偏重が母集団の縮小を招いていないか

41

## 話題

- ▶ 公平と公正
- ▶ アドミッションポリシーと選抜方法
- ▶ 差別してはいけない属性
- ▶ メリトクラシーとペアレントクラシー
- ▶ 医学教育研究のレビューから
- ▶ 医学部入試と教育格差
- ▶ 自身の研究から

42

2017.8.18 医学教育学会大会(札幌)

## 一週刊誌に掲載された 医学部入試に関する記事の分析

大滝純司<sup>1)</sup>, 柴原真知子<sup>2)</sup>, 柿本明日香<sup>3)</sup>,  
武富貴久子<sup>1)</sup>, 渡邊洋子<sup>4)</sup>

1) 北海道大学医学研究院, 2) 京都大学医学研究科,  
3) 京都大学教育学研究科, 4) 新潟大学創生学部

43

## 目的

- ▶ 医学部入試の妥当性を多角的に検討する一環として  
医学部入試に関するメディアの動向を検討
- ▶ 研究課題 Research question
  - (1) メディアの大学入試に関する記事における  
医学部入試の占める割合は変化しているか？
  - (2) メディアの医学部入試に関する記事の内容は  
変化しているか？

44

週刊朝日 2018.6.15号



45

週刊朝日 2018.6.15号

高校別合格者数は、合格実績のある学校への本誌とサンデー毎日、大学通信の合同調査による推薦・AOなどを含む人数（4月末日現在  
 判明分）。未回答・非公表の高校は掲載していない。  
 ◇=国立、○=私立、無印は公立を表す。 協力・大学通信

順位	学校(所在地)	卒業生数	82 大学 合計	うち 現役	医学部医学科										32 大学 合計		
					東京	北海道	東北	名古屋	大阪	九州	薬 学 部 医 科	50 大 学 合 計	防 衛 医 科	自 治 医 科		農 林 薬 学	産 業 医 科
1	○東海(愛知)	425	208	116	2	4	3	38	1	3	1	132	4	1	3	1	76
2	○四天王寺(大阪)	506	185	56	1	1	1	3	1	1	63	4	1	1	1	122	
3	○洛南(京都)	464	177	87	2	13	1	1	11	1	95	14	1	5	2	82	
4	○桜蔭(東京)	231	169	122	8	1	1	1	1	1	42	11	1	19	1	127	
5	○巣鴨(東京)	237	152	54				1			27	10		1	2	125	
6	○開成(東京)	398	144	89	10	2	5	1	1	1	57	8		20	1	87	
6	○ラ・サール(鹿児島)	225	144	42	2	2		1	2	14	86	7		4	2	58	
8	○灘(兵庫)	219	142	61	15	22		1	15		96	20		10		62	
9	○海城(東京)	320	140	73			1	1	4		37	6		5	1	103	
10	○久留米大附設(福岡)	195	119	45	1	1	1	3	20		57	7	2	1	6	62	
11	○渋谷教育学園幕張(千葉)	376	117	57	2		2			2	39	7	1	2	1	78	
-12	○南山(愛知)	409	112	50				7			37	1				75	
13	○青雲(長崎)	214	109	29					6		42	3	3		5	67	
14	○豊島岡女子学園(東京)	346	107	65					1		34	7		1	1	73	
15	○白陵(兵庫)	186	106	56		1			2		38	11	2	1	1	68	

46

## 方法

- ▶ デザイン: 週刊誌記事のretrospective analysis
- ▶ 理論的枠組み: マスメディアの議題設定機能仮説
- ▶ 対象: 大手週刊誌S誌に1995~2016年に掲載された大学入試に関する記事
- ▶ 分析手順:
  - ▶ K市立図書館所蔵のバックナンバーを閲覧
  - ▶ 手作業で医学部入試に関する記事を抽出
  - ▶ 時系列的に集計
  - ▶ 記事の内容を分類

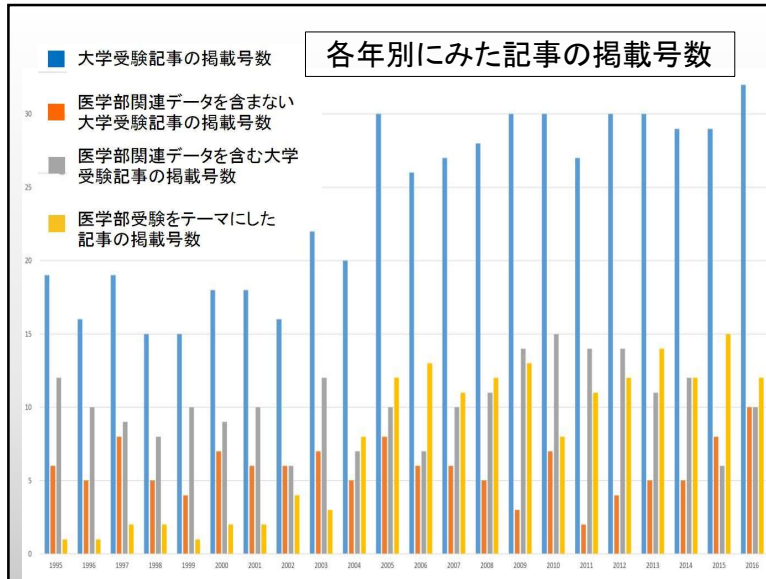
47

## 結果

- ▶ 大学入試に関する記事: 526('95~'16年)
  - ▶ 一部に医学部関連情報を含む記事: 227
  - ▶ 医学部関連の情報を含まない記事: 128
  - ▶ 医学部入試が主なテーマの記事: 171(同上)
    - ▶ 1995年~2003年: 1~4/年
    - ▶ 2004年~2016年: 8~15/年

母集団(大学入試に関する記事)に占める割合: 優位に増加(0.1139→0.4158, P<0.05)

48



49

## 結果

### ▶ 医学部入試が主なテーマの記事の内容

- ▶ 医学部入試の大学別難易度
- ▶ 医学部志望の動向
- ▶ 学費や地域枠の影響
- ▶ 医学部入試の高校別合格者数

2003年まで

: 東大理3や京大医学部など一部に限定

2004年以降

: 全国公立大と一部私立大の情報

「高校別ランキング」などを毎年掲載

50

## 考察

- ▶ 入試関連記事に占める医学部入試の割合は増加
- ▶ 2004年以降は特集が組まれるように
- ▶ 「有名進学校」など出身高校別の合格者数に注目
- ▶ 選抜方法の妥当性に関する記事は少ない

51

15th APMEC 2018, Singapore, January, 2018

Size of city, type of school, and applications to medical schools in Japan

Findings from a nationwide survey of high school guidance counselors

Otaki J, Taketomi K, Ito YM, Nagata-Kobayashi S

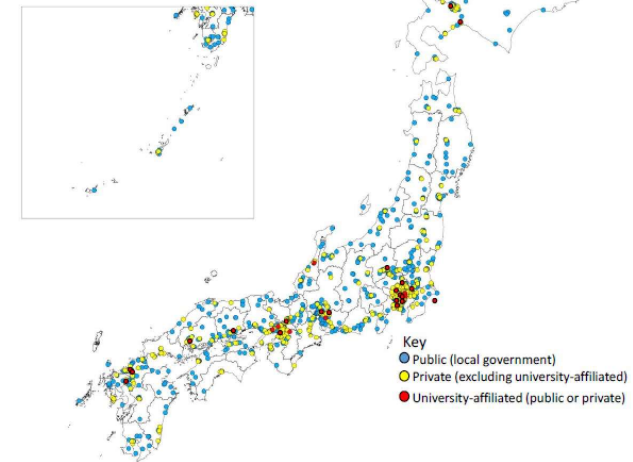
52

## Methods

- Cross-sectional questionnaire survey.
- Compiled a list of 1,746 high schools in Japan.
  - From two articles in weekly magazines
- Mailed a questionnaire to guidance counselors in identified schools.
- Questionnaire items
  - Schools: Information about medical school entrance exams
  - Respondents: Opinions regarding current medical school entrance exams
  - Students: Home environments

53

Location of high school attended by the respondent (n = 1094)



54

Population of city or town in which the high school is located

Population of city or town	Number of schools (%)
Over 1 million	248 (22.7%)
500,000–999,999	104 ( 9.5)
200,000–499,999	268 (24.5)
100,000–199,999	198 (18.1)
Less than 99,999	276 (25.2)

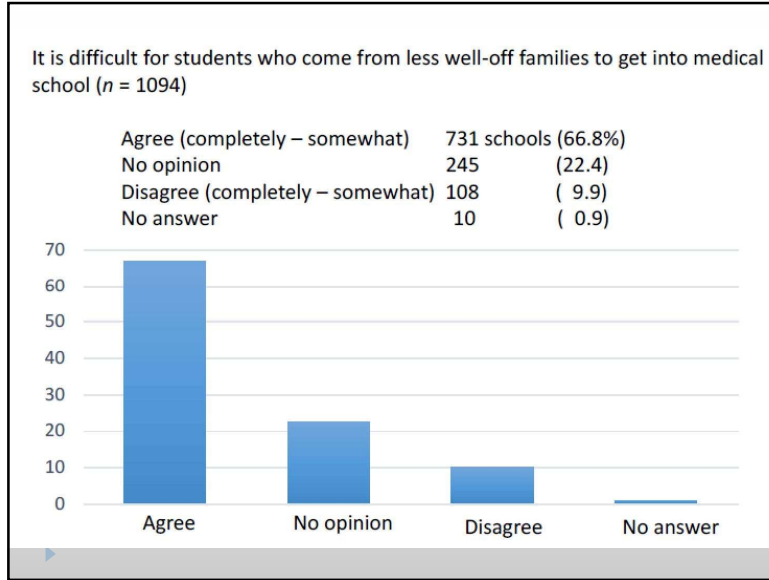
55

Number of graduates going on to medical school in an average year

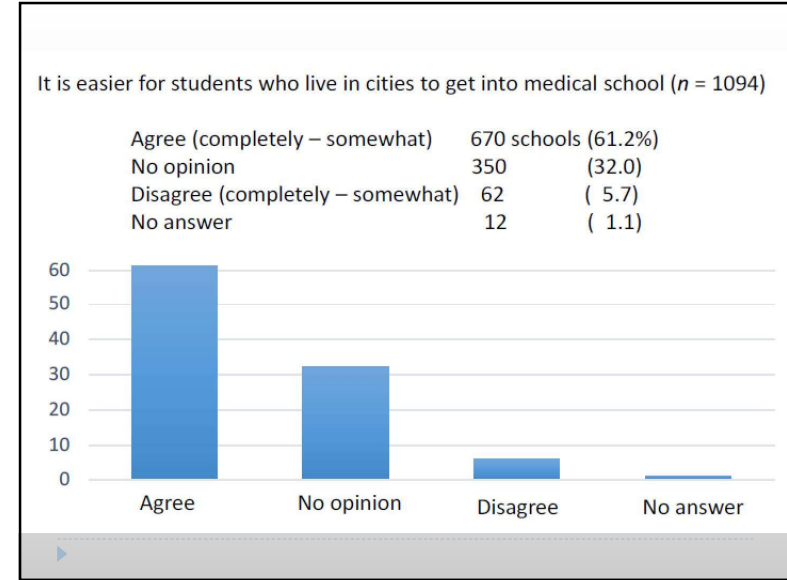
No. of graduates going on to medical school	Number of schools (%)
21 or more	68 ( 6.2%)
11–20	68 ( 6.2)
6–10	78 ( 7.1)
2–5	212 (19.4)
1 or none	665 (60.8)
Others	3 ( 0.3)

56

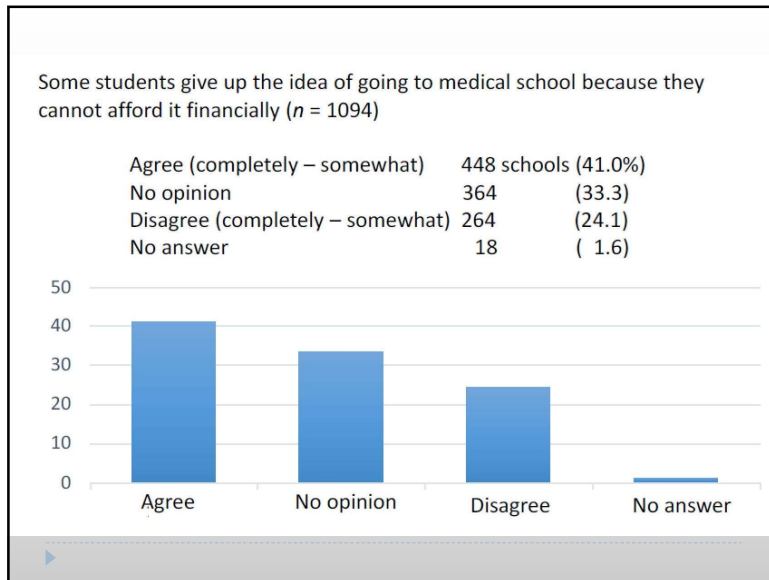




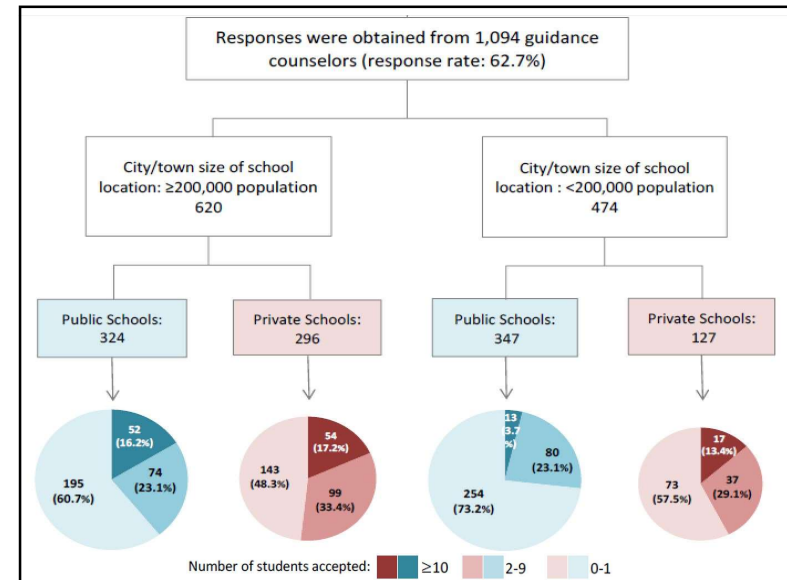
57



58



59



60



## まとめ

- ▶ 公正な試験の要件には社会への説明が
- ▶ アドポリに沿った選抜方法への見直しを
- ▶ 差別についてはルールの明示を
- ▶ 医師養成でのペアレントクラシーは何をもたらすか
- ▶ 入試の研究は海外で盛ん
- ▶ 教育格差の構造を意識する
- ▶ 国際比較や見える化を

61

62

- ▶ 以降のスライドは質疑応答用

63

## 日本の大学入試

- ▶ 各大学が作成した(独自の傾向を持つ)ペーパーテストで大勢の受験生が同時に同じ問題に解答



その点数で合否を判定するという方法の明快さ

「一発勝負の公平性」として尊重する意見も

妥当性: ? ~ × 再現性: ○ 等価性: ○ 実現可能性: ○

教育効果: ? ~ × 触媒効果: ? ~ × 容認可能性: ○



引用: <https://akahon.net/>

64

## 日本の大学入試の分析：多くの課題と限界

- ▶ 実態は可視化されにくい
  - ▶ 個人情報保護
  - ▶ 試験対策への影響の回避
  - ▶ 大学間の駆け引き
  - ▶ 不合格者との比較の難しさ
- ▶ 合否判定の実態
  - ▶ 「適否の判定」は極端な例以外は困難
  - ▶ 「順位付け」をして「定員で切る」作業になりがち
- ▶ 入学後の経過
  - ▶ 脱落や進路変更への非寛容

65

## 私立大学医学部志願者数増加の理由

- ▶ 先行き不透明な経済事情
  - ← 職業として安定する医師という選択肢
- ▶ 新設医学部を卒業した医師の子弟が受験期
- ▶ 受験方式の多様化
- ▶ 学費の減額と奨学金制度の充実

出典：私立大学医学部に入ろう！ドットコム「私立大学医学部 入学試験動向」  
<http://www.sidaiigakubu.com/trend/>

国公立大学医学部には関係ない・・・ことはない

66

## 格差社会における医学部入試

ーロンドン大キングス・カレッジの試みー  
 武田裕子 ハーバード大

### 健康の社会決定要因(Social determinants of health)

- ▶ 医療の偏在、貧困、失業、教育機会の喪失⇒健康格差
  - ▶ 医学生も多くは社会的困窮や格差を実感する機会少ない
- 英国の医学部

- ▶ 一部の集団は**医学部入学に不利**：教育機会均等の問題
  - ▶ 英国は先進国の中でも所得格差大で**階層間の移動乏しい**
- キングス・カレッジ医学部

- ▶ 不利な状況の高校生に**医学部入学の拡大枠**
- ▶ 医学部5年間の最初の2年間に3年かける

### 不況とグローバル経済

- ▶ 所得格差⇒健康格差⇒教育格差
- ▶ 社会経済的弱者の子供たちに顕著：**日本も例外ではない**

2013.10.26 国際シンポジウム「医学部入試の課題と改革」

67

## ユニバーサル化で生じた葛藤・困難

- ▶ 教育機関の本質と機能に関して教授団や学生に**consensusが成立していない**
- ▶ 自分の意思でなしに通学してくる者の比率が高まった
- ▶ 正規の教育プログラムの拘束に対して多くの学生層から**氾濫が生じている**

出典：マーチン・トロウ著 「高学歴社会の大学」

68

## 国際認証評価での基準(2)

### 質的向上のための水準

医学部は

- ▶ 選抜と、医学部の使命、教育プログラムならびに卒業時に期待される能力との関連を述べるべきである。
- ▶ アドミッション・ポリシー(入学方針)を定期的に見直すべきである。
- ▶ 入学決定に対する疑義申し立て制度を採用すべきである。

注) 質的向上のための水準:

一部または全てについての達成度もしくは達成の見通しについて示すことができるべき

医学教育分野別評価基準日本版 WFME)グローバルスタンダード2012年版準拠Ver.1.30

69

## 世界の医学部入試の状況と国際的な課題

クラレンス・クライター教授 アイオワ大

医学部入試を国際的な視野で概説

- ▶ 医学部入試の方法や入学志願者の層は多様
- ▶ その妥当性に関する論点はほぼ同様
- ▶ 一般的知能以外の測定は妥当性に関する根拠が不十分
- ▶ メタ分析により一般化可能で国際的に通用する知見
- ▶ 知的能力に優れた志願者を選び出すことを重視
- ▶ 入試が目的に適っていることを測定できていない
- ▶ 学業成績より適正試験を重視⇒教育歴や社会背景による差を狭められる
- ▶ すべての入試は一般的知能に相関
- ▶ 一般的知能は専門職アウトカムの予測につながるだろう

2013.10.26 国際シンポジウム「医学部入試の課題と改革」

70

Teaching and Learning in Medicine 27(2), 197-200  
Copyright © 2015, Taylor & Francis Group, LLC  
ISSN: 1040-1334 print / 1572-4015 online  
DOI: 10.1080/10401334.2015.1022059



### OBSERVATIONS

#### Constructing a More Comprehensive Validity Argument for Medical School Admission Testing: Predicting Long-Term Outcomes

Clarence D. Kreiter

Department of Family Medicine, University of Iowa Carver College of Medicine, Iowa City, Iowa, USA

Junji Otaki

Center for Medical Education, Graduate School of Medicine, Hokkaido University, Sapporo, Hokkaido, Japan

**Issue:** The research published outside of medical education journals provides an important source of validity evidence for using cognitive ability testing in medical school admissions. **Evidence:** The cumulative body of validity research, consisting of thousands of studies and scores of meta-analyses, has conclusively demonstrated that a strong positive relationship exists between job performance and general mental ability. **Implications:** Recommendations for reducing the emphasis on or eliminating the role of general mental ability in the selection process for medical schools are not based on a consideration of the wider research evidence. Admission interventions that substantially reduce the level of academic aptitude are also likely to result in reduced professional performance.

**Keywords:** MCAT, validity, admissions

journals, the meta-analytic insights discussed here are possible only through a cross-disciplinary survey of the validity evidence.

### BACKGROUND

In the United States, there have been many calls to reduce the emphasis on admission test scores and cognitive ability measures used during the selection process. Perhaps the most public of these calls took place when Dr. Jordan Cohen, then president of the Association of American Medical Colleges (AAMC), suggested that medical schools use Medical College Admission Test (MCAT) scores only as a lower threshold for eliminating high-risk applicants.<sup>1</sup> To achieve this, he recom-

Teaching and Learning in Medicine 27(2):197-200

71

## マギル大学(カナダ)の医学生選抜, その新手法

ジョイス・ピカリング マギル大学医学部

過去の入試と問題点

- ▶ 知識面の能力: GPAとMCAT (Med. College Adm. Test)
    - ▶ 基礎医学領域の成績に相関するが、臨床医学との相関はない
  - ▶ 知識面以外の能力: 志望理由の手紙、推薦状、面接
- Multiple mini interviews (MMIs)の開発と導入**
- ▶ 知識面以外の能力を診る: **McMaster大を参考に**
    - ▶ 例: 障害者の指導 / 急な荷造り / 母の違法行為へ対応

MMIを入試に導入した結果

- ▶ M1-M4の成績との相関: **GPA + MMIs > GPA単独**
  - ▶ M1, M2, M1-M4の成績: 入学前4年間の GPAと正相関
- ▶ **M3クリニック**: GPAと無相関 / 面接と負相関 / MMIsと正相関
- ▶ **従来の面接試験を止めMMIs単独に**
  - ▶ 面接は意味が無いか逆効果 ⇔ MMIsは臨床能力を予測

2013.10.26 国際シンポジウム「医学部入試の課題と改革」

72

## 日本の医学部入試の現状と課題

大滝純司 北海道大学

### 現状の確認

- ▶ 医学部入試の学力試験では**受験学力を測定**
- ▶ 受験学力のみの入学者選抜には改善勧告
- ▶ 面接や活動歴などを重視する評価や推薦入試が導入
- ▶ **入学後脱落しないためには相当の学力が必要**
- ▶ **受験学力が日本の医学部入試の尺度の中心**
- ▶ **高度な受験学力を測定することの妥当性**
- ▶ 「地域枠」が政策的に導入
- ▶ 入試合格者に**一律の受験学力を求めることは妥当か**
- ▶ **教育格差の影響**
- ▶ **裕福な家庭の出身者**
- ▶ **進学校の多い都会の出身者 が医学部入学に有利に**

▶ 2013.10.26 国際シンポジウム「医学部入試の課題と改革」

73

## 医学部入試の妥当性に関する総合研究

### 教育格差

- ▶ 経済的、地理的環境の影響
- ▶ 高校の進路指導担当教員に質問紙調査

### 選考方法

- ▶ 受験学力測定の影響
- ▶ 特殊な受験対策の調査
- ▶ 測定する能力と選考目的の整合性の検討
- ▶ 選考方法の妥当性を高める方策の検討

### 入学後の課題

- ▶ 受験の学習から教養/専門教育への移行
- ▶ 躰きの実態の調査
- ▶ 初年時教育の重要性和具体例の呈示

▶ 文科省科研費：24390133(2012～15年度), 16H05208(2016～19年度)

74

## 考察

- ▶ **マスメディアの論点はどのようにして決まるのか**
  - ▶ 視聴者や読者が興味を持ちやすいことを採用？
- ▶ **従来のメディア効果論**
  - ▶ マスメディアへの接触を独立変数
  - ▶ 人々の態度や認知を従属変数とするフレームワーク
- ▶ **メディアの最小効果論**
  - ▶ 先有態度や選好に基づいた選択的接触が強く
  - ▶ メディア接触は意見や態度によって選ばれる従属変数？
- ▶ **先有態度と一致する情報ばかりに接触**
  - ▶ 態度変化のきっかけは失われる？

▶ 引用：「マスメディアが世論形成に果たす役割とその揺らぎ」  
放送メディア研究 No.13 2016 105-128

75

## 考察

- ▶ **医学教育関係者として**
  - ▶ 医学部入試に関する情報の発信を
  - ▶ 注目されにくい重要な論点について
- ▶ **たとえば**
  - ▶ 医学部入試に関する妥当性の議論
  - ▶ 医学部入試が過熱することの弊害

76